

うが、分布図作成はできないので単純平均を用いた。

5. 標準偏差が一般に大きく、その値の範囲内の差は数学的には無意味となる。しかし、我々はまず平均的な値をつかみ、それからの偏差はどのような時に現われるかという態度をとっている。

したがってこの調査はこれで終わったのではなく、さらに資料の集積を得ながら調査を進めたい。諸兄の御指導をお願いする。

参考文献

- 1) 昆幸雄, 新聞競三・池田誠也 (1970) : 北高型

における岩手県の風と天気について, 研究時報, 22巻3号, 91-103.

- 2) 仙台管区気象台 (1967) : 観測所における実際の日出・日没時刻ならびに可照時間 (表), 東北技術だより, 第31号, 49頁.
- 3) 昆幸雄, 池田誠也 (1966) : 岩手県における可照時と日照率の分布について, 研究時報, 18巻6号, 387-394.
- 4) 吉田作松 (1968) : バイメタル式日照計による観測値の性質, 研究時報, 20巻1号, 6-23.

“特集——70年代の気象学のあり方” に関連した原稿募集について

気象研究ノート編集委員会

さる2月に発行した気象研究ノート106号“特集——70年代の気象学のあり方”に対しては、すでに学会の内外からいくつかの感想や意見がよせられています。

そこで気象研究ノート編集委員会では、この特集号に関連した感想や意見を募集し、次号から投書欄をもうけて順次掲載することにいたしました。

ふるってご応募ください。なお、寄稿者には掲載誌を1部進呈します。別刷、原稿料は割愛させていただきますので、あらかじめご承知おきください。

原稿送付先：〒166 東京都杉並区高円寺北 4-35-8 気象研究所
川村清

お願い：原稿は、横書400字づめとし、コピーがとれるよう鮮明にかいてください。あらかじめコピー1通をそえてお送りくだされば大変好都合ですので、よろしくおねがいします。

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
日本気象学会総会 および春季大会	” 5月24日 ～27日	日本気象学会 (東大)	気 象 庁
山 の 気 象	” 6月19日	気象研究所	気 象 庁
THIRD INTERNATIONAL CONFERENCE ON WIND EFFECTS ON BUILDINGS AND STRUCTURES	” 9月6～11日	(気象学会後援)	東 京
日本気象学会総会 および秋期大会	” 10月5日 ～8日	日本気象学会	札 幌